

(毎月10日・25日発行)

復興ニュース

90号
2013年
5月25日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

あなたも「生きがい」を見つけませんか



NPO 法人夢ネット大船渡は15日、カメラアホール研修室で第1回社会貢献活動入門講座を行い、市内外から約20人が参加しました。岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター長の富手正義さんが講師を務め、「次のはじまりのきっかけづくり」をテーマに話したほか、市内の音声訳ボランティアグループ「オープンハート」副会長の石橋祥子さんが活動報告を行いました。

社会貢献活動入門講座は、社会の第一線を退いた市民らに社会参加と生きがいづくりを促す目的で、全3回の予定で行われます。

今回の講座で、富手さんは「高齢者は支えられて当たり前だと考えている人も多いと思うが、経験豊富でやる気の満ちた高齢者の力を活用しましょう。大船渡の中で活動の芽を出し、みんなでやること。難しいことはありません。社会貢献活動の拠点づくりと広がり支援することが大事です」などと話していました。

参加者の中には、木工工作が趣味で、近所の方に出来上がった作品を贈っている男性がいらっしゃいました。

男性はご自身の作品を会場に持ってきており、みんなで拝見させていただきました。

富手さんも「素晴らしい!!」と大絶賛でした。



みんなで意見交換もしました!

～第2回社会貢献活動入門講座ご案内～

【日時】6月24日(月) 13:30～15:30

【場所】カメラアホール研修室 受講無料

【テーマ】聞く・考えるかじゃ! 行動を起こそうか (講師・富手正義さん)

◆受講者募集 希望者にご連絡ください 夢ネット大船渡 Tel・fax (0192) 47-3271

～マジック教室 初心者歓迎～

初心者対象にマジック教室を4回コースで開催します。講師は花巻市の二本木さんです。人が集まった際に「マジック」は大きな話題と驚きを与えるツールです。みんなでマジックをやってみませんか。

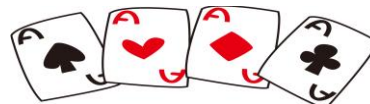
第1回目は、①復活する紙、②カードマジック、③不思議な新聞紙 を指導します。

【日時】6月18日(火) 13:30～15:30

【場所】カメラアホール研修室

【締め切り】6月11日 定員15人(先着順)

参加は無料ですが、材料費が必要です。第1回目は③不思議な新聞紙の材料費、525円を頂きます。トランプは各自持参、復活する紙は先生が準備します。主催、申し込み先：夢ネット大船渡 Tel・fax (0192) 47-3271



手芸品の販売支援、ありがとうございます 夢ネット大船渡

●高石市ボランティアグループ「生活支援市場みどりや」

大阪府高石市の高石ボランティアグループ「生活支援市場みどりや」（池内剛史代表）による復興支援のイベントを平成25年3月9日、高石市の「高南自治会館」で開催しました。会場には陸前高田市と大船渡市の被災状況や支援活動の写真を展示し、大船渡物産展を開催した結果、約500人の来場者があり、大きな成果をあげました。5月11日に三鉄盛駅ふれあい待合室へ池内代表と明石相談役の訪問があり、「東北の被災地と高石市のパイプ役となり、東北の観光や物産の買い物へ行こう」と熱く話してくれました。



●聖光学院（神奈川県）SVC委員会

聖光学院は神奈川県横浜市にある中高一貫の男子校で、SVC（Seiko Volunteer Centre）委員会という生徒にボランティアの情報を提供したり、実際にボランティアを行ったりする独自の委員会があります。

SVC委員会のお世話で、4月27、28日に開催した聖光祭で、被災地の支援として三鉄盛駅ふれあい待合室から、手芸品や三鉄グッズを仕入れ、総額21万1320円を販売しました。その際に

被災地の写真や手芸品を作っている方々の思いなどを展示して頂きました。

いわて復興応援隊隊員、高田高校で進路講演会

いわて復興応援隊で気仙地域に配属されている斉藤健祐さんと美濃はるかさんの2人が5月13日、県立高田高校で行われた進路講演会で講師を務めました。

進路講演会は、高田高校が生徒へのキャリア教育を目的に年2回ほど開いているもので、今回は全学年508人と教職員が参加しました。

応援隊の2人はいわて復興応援隊の役割や各団体での活動紹介、活動への感想などを話しました。斉藤さんは「今後進路を考える時に“自分に何ができるか”を考えてほしい」と生徒らにアドバイス、美濃さんは「初めから固定観念を持たずに色々なことを経験して、自分が輝ける道を見つけてほしい」とエールを送っていました。

講演会后、生徒らが応援隊の2人に、応援隊としての活動中に印象に残ったことや心がけていることなどを質問していました。



カラオケ「すすめの学校」開設

三鉄歌声列車常連の有志の方が気軽にカラオケが出来る場所を開設しました。陸前高田市の岩淵さん、畠山さん、菅野さんの3人が世話人となって、毎週木曜日（変更もあり）の午前10時から午後3時半まで、高田町の鳴石公民館を借用し、4月から始めました。

希望者は陸前高田市内に限らず、大船渡や気仙沼の人も大歓迎とのことです。5月17日に訪問し聞いてみました。

世話人の一人、岩淵さんにすすめの学校を立ち上げた気持ちを聞いてみました。「カラオケの好きな人が多いが、気楽に歌える場所がなかったことから自分たちで立ち上げよう」と話し合った結果です。「すすめの学校」としましたが先生もいません。みんなで気軽に歌ってストレス解消ですよと話してくれました。参加していた川原昭次さん（大船渡市、83歳）は、「植木職も現職、声を出して歌っているので、薬も飲んでいない糖尿病にもなっていない」とカラオケの効用を話してくれました。 問合せ先：岩淵孝二さん Tel（0192）55-2760

6月の無料法律相談 弁護士さん2人来ます 仮設住宅へも訪問（出張）します。

弁護士の訪問を希望する方は、申し込みの際にその旨をお知らせ下さい。

6月 1日（土）14：00～16：00 6月 2日（日）10：00～12：00

6月29日（土）14：00～16：00 6月30日（日）10：00～12：00

場所：三鉄盛駅ふれあい待合室 事前申込みが必要です Tel・fax（0192）47-3542

神戸大学からボランティアさん

4月26日から5月3日まで8日間の日程で、沿岸各地に神戸大学の学生がボランティアに来てくださいました。今回は約20人の学生が参加し、仮設住宅の集会所で足湯や手芸、お茶っこなどの活動しました。

旧広田水産高校グラウンド仮設住宅では、学生5人と住民らが、タオルを使ってぞうさんの形を作る「負けないゾウ」作りなどに取り組んでいました。初めて参加した学生も積極的に住民の方とコミュニケーションを取っていて、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。学生らは「何かできることがないかいつも試行錯誤して活動している」「岩手の人はとても温かい。また活動に参加したい」と笑顔で話していました。

神戸大学では、東日本大震災直後から延べ14回にわたりボランティアバスを派遣し、これまでに600人以上の学生が参加したそうです。学生らが企画したたこ焼きづくりやバルーンアートなどのイベントは、住民らに大好評。次は8月にいらっしゃるそうです。



負けないゾウを作る住民と学生ら

まちかど、こんにちは!!

☆このコーナーでは、気仙地域で震災に負けずに頑張るお店や工場などを紹介します!!

第1回 大船渡市大船渡町 理容室ニュー清水さん



*毎週月曜日は休み
*営業時間9:00~18:30

ヒゲがとっても素敵な清水康雄さん(65)が店主を務めるアットホームな床屋さん。

清水さんは昭和46年、盛岡や東京で修業を経て、地元である大船渡市で理容室ニュー清水を開業。ジャズが似合うおしゃれなお店でしたが、東日本大震災の津波で店舗は流失してしまいました。震災後は、同じく理容師である長女とともに仮設住宅で散髪のボランティアに当たっていたといいます。

そんな中、長女からの「みんなが必要にしてくれている。店をもう一度やろう」という言葉に後押しされ、

大船渡町字台の仮設店舗で営業を再開しました。

平成23年8月には、埼玉県の男性画家やボランティアによって店舗の外壁にとっても明るい元気いっぱいの絵が施され、ニュー清水はさらにパワーアップ!! 「誠心誠意、親切な対応」をモットーに、今日も笑顔でお客様を迎えています。

ママサロン

《大船渡 カメリアホール》

【日時】6月4日 ・10:30~1階ホール(1歳以上)「親子ふれあいリトミック♪」
・11:00~2階和室(妊婦さんから1歳まで)「赤ちゃんの虫歯退治!!」

《陸前高田 米崎コミセン》

【日時】6月18日 ・10:30~1階ホール(1歳以上)「森のつみき広場♪」
・11:00~2階和室(妊婦さんから1歳まで)「ママのフェイスクケア&シンプルメーキャップ」

【参加費】200円(保険料、軽食、おやつ込み)

【問い合わせ】こそだてシップ伊藤さん (Tel0192-27-9839)へ。

ご意見、ご感想お寄せください!
短歌、俳句作品も募集します!

◎どなたでも応募可能です。◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

NPO 法人夢ネット大船渡 *大船渡市盛町字内の目14-15

*Tel/fax 47-3271 *メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

